

教材名	
はりねすみ君 1号	
教科・領域等	
課題学習	
ねらい	
目と手の協応 始点、終点の理解 手指の巧緻性（つまむ）	
対象とした児童・生徒の実態、障がい・行動の特性等	
発達年齢1歳～1歳半ごろ 対象を「見続ける」ことや、はじめ、終わりの理解がまだ難しい。そのため、「入れる」という動作は難しいので、引き抜くという動作を取り入れている。	
ポイント（使い方・工夫した点・支援について等）	
・視線が行きやすいように棒の上部に赤いシールを貼っている。 ・2～3本の指でつまめるような太さにしている。 ・上、横、手前にそれぞれ引き抜けるようにしている。 ・段をつけることで、課題の難易度を調整できる。対象生徒は右利きであるが、左手も使うようにできる。 ・引き抜いた後、棒を容器に入れられない段階なら、大人に手渡す。	
備考	・生徒机より大きいですか。 はい ・ <u>いいえ</u>（具体的な大きさ： ） ・特別に必要なものはありますか。（PCが使われる場合、電源など）（ ）